

令和元年 11 月 10 日執行

海田町長選挙候補者選挙公報

海田町選挙管理委員会

1 全力

災害の復旧・復興をめざして

まだ復旧は道半ば、早期の復旧・復興に全力被災者支援センター、被災者に寄り添う早めの避難に向け、情報伝達を工夫災害に強いまちをつくる



西ノ谷川・西ノ谷川支川

2 結集

暮らしやすさをめざして



3 挑戦

未来へチャレンジ 持続可能な開発目標(SDGs)をめざして

「SDGs (エスディージーズ)」とは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標です。



67歳 海田町生まれ
 ・家族 妻と一男三女
 ・短大・大学講師 を勤める
 ・海田南小、海田中学校PTA会長、海田高校PTA副会長
 広島国際学院高校PTA会長を歴任
 ・海田町議会議員(4期14年)を務める
 ・海田町長 1期
 日本赤十字広島県支部海田町分区長
 広島県海田高校財産組合管理者を歴任
 推せん
 自由民主党 広島県支部連合会
 安芸地区医師連盟
 安芸歯科医師連盟
 広島県薬剤師連盟・安芸支部
 広島県宅建政治連盟・安芸賀茂支部

にしだ
西田祐三

海田の未来へ
いざ行動!

子や孫の代まで負担をかけない
計画的で効率的な財政運営

復興と防災に全力で取り組みます!

町内にはまだ復興出来ていない箇所がたくさんあります。
防災と同時進行で復興に向けても全力で取り組みます。

グローバル教育 人材育成と子育て支援

中学・高校 一貫教育の推進をします。
中学校区の撤廃と小学校区の弾力化
小・中学校 給食費の無料化
防球ネット確保で事故防止に努めます。

医療

中学生まで
入院医療費の
助成拡充をします。

免許返納でも暮らしやすい福祉充実の町へ!

循環バスの非カバー地域についても交通環境の整備を進めます。
駅前の駐輪料金の見直し(自転車一時利用100円→50円)
敬老事業の祝品を毎年に戻します。

協働のまちづくり

自治会・各種団体がふるさと納税を募るシステム
命名権(ネーミングライツ)への取り組み

産業

企業誘致、土地
用途変更による
高度化利用

建設

仮称「海田東駅」構想を推進します。



兼山 益大 **プロフィール**
 昭和47年5月 海田町生まれ(47歳)
 家族 妻 父母と同居 海田市小学校・海田中
 学校・県立広島商業高校・大阪体育大学 体育
 学部(すべて野球部在籍)会社員を経て・中学
 保健体育講師・接骨院 海田町議会議員とし
 て当選3回 監査委員・委員長を歴任
 ファイナンシャルプランナー 介護ヘルパー
 防災士 小・中・高教員免許 宅地建物取引士
 柔道整復師 スポーツ少年団指導者認定員

かねやま
兼山ますひろ
海田町長候補
47歳

※この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版したものです。掲載順序は抽せんによりました。